

ソーシャルマーケティング手法を用いた 産業保健に関わる保健師および担当者のための ウイルス性肝炎対策Q&A集作成を目指した調査研究



主任研究者

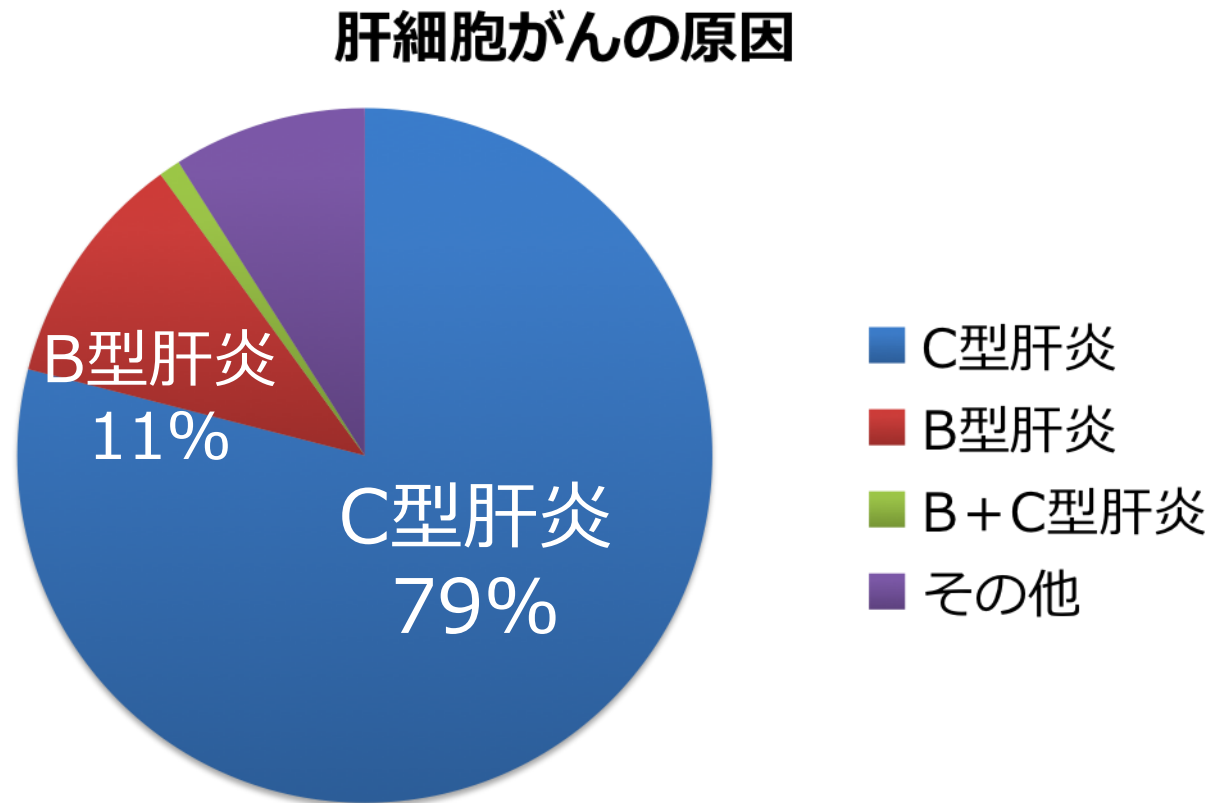
佐賀産業保健総合支援センター 産業保健相談員
江口 有一郎

共同研究者

佐賀大学医学部 肝臓・糖尿病・内分泌内科
岡田 倫明

ウイルス性肝炎は国内最大の感染症

肝細胞がんの原因の大部分は、ウイルス性肝炎



その中でも特にC型肝炎が特に多い

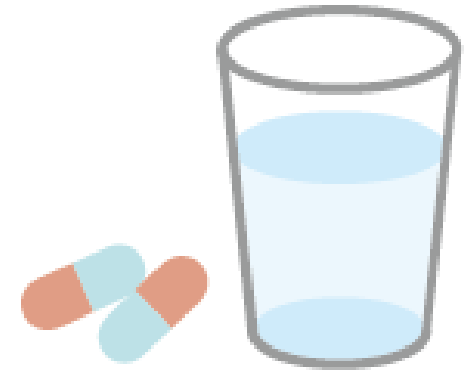
気になるC型肝炎の治療について

進歩 1 : 飲み薬だけで治ります

進歩 2 : 3ヶ月（84日間）、飲むだけです

進歩 3 : 治る率は、95%以上です

進歩 4 : 400万～500万かかる医療費が、3万で済みます
(高額納税世帯～6万)



- ・ 仕事に負担をかけず治すことができます
- ・ 肝がんにならない唯一の秘策です

働いている人が
(1) 肝炎ウイルス検査を受け、
(2) 適切な対策・治療
をすれば肝臓がんを減らせます



ウイルス検査を受けて、治療に向けて精密検査して 治療に結びつけることが大切

職域における肝疾患連携エコシステムの実際のフロー

ステップ1「受検」

肝炎ウイルス検査

HBs抗原
HCV抗体

社内講話
啓発イベント

ステップ2「受診」

精密検査の受診

相談・保健指導

肝炎ウイルス
陽性労働者
からの相談

できるだけ早期
の受診を勧める

精密検査の支援

産業医

産業保健師

精密検査を受けた
労働者

ステップ3「受療」

治療支援

産業保健師

産業医

抗ウイルス治療受療に
関する相談・支援

治療導入
治療継続

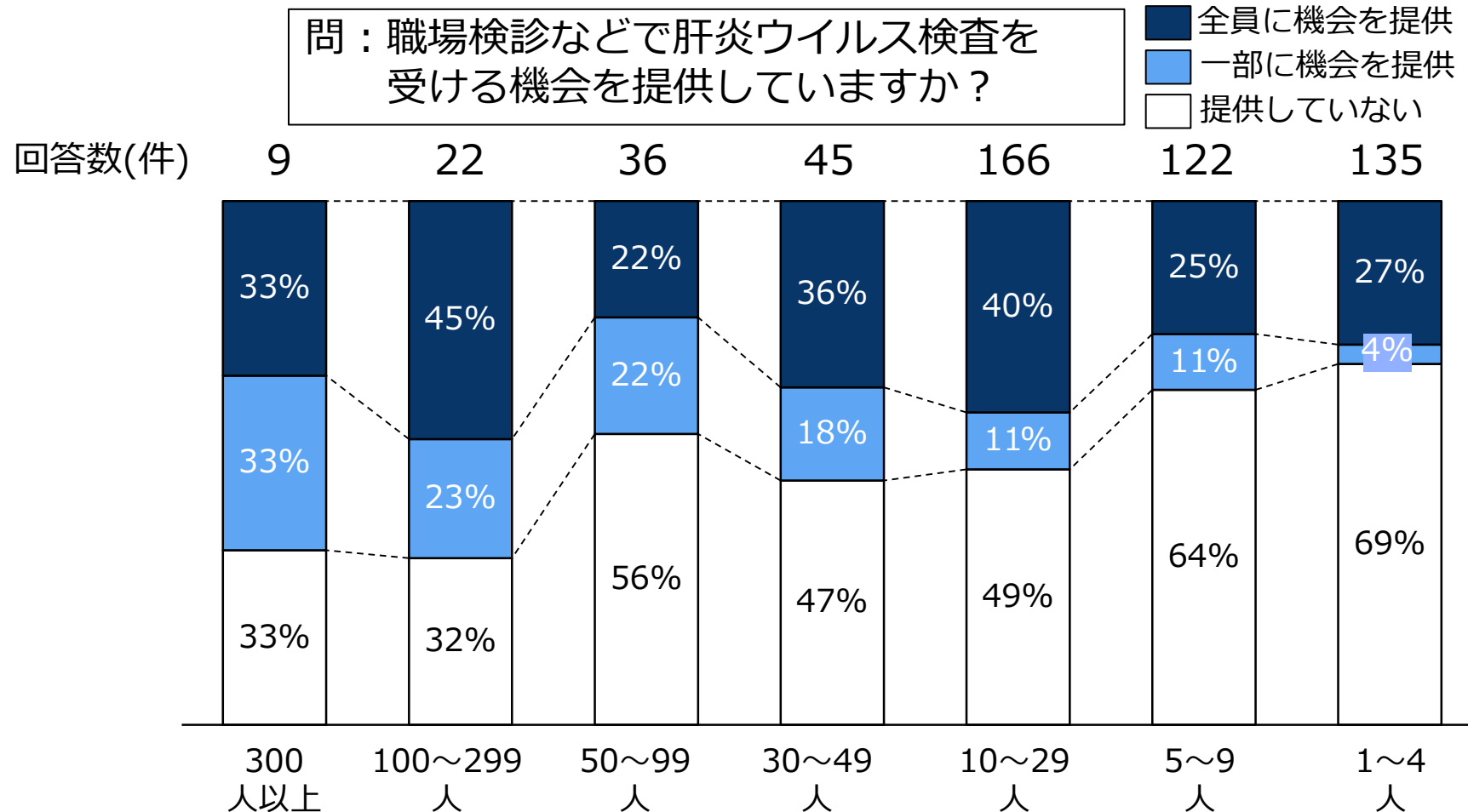
専門医

かかりつけ医

治療に対する
動機づけ・支援

治癒
進展防止策
定期観察
復職支援

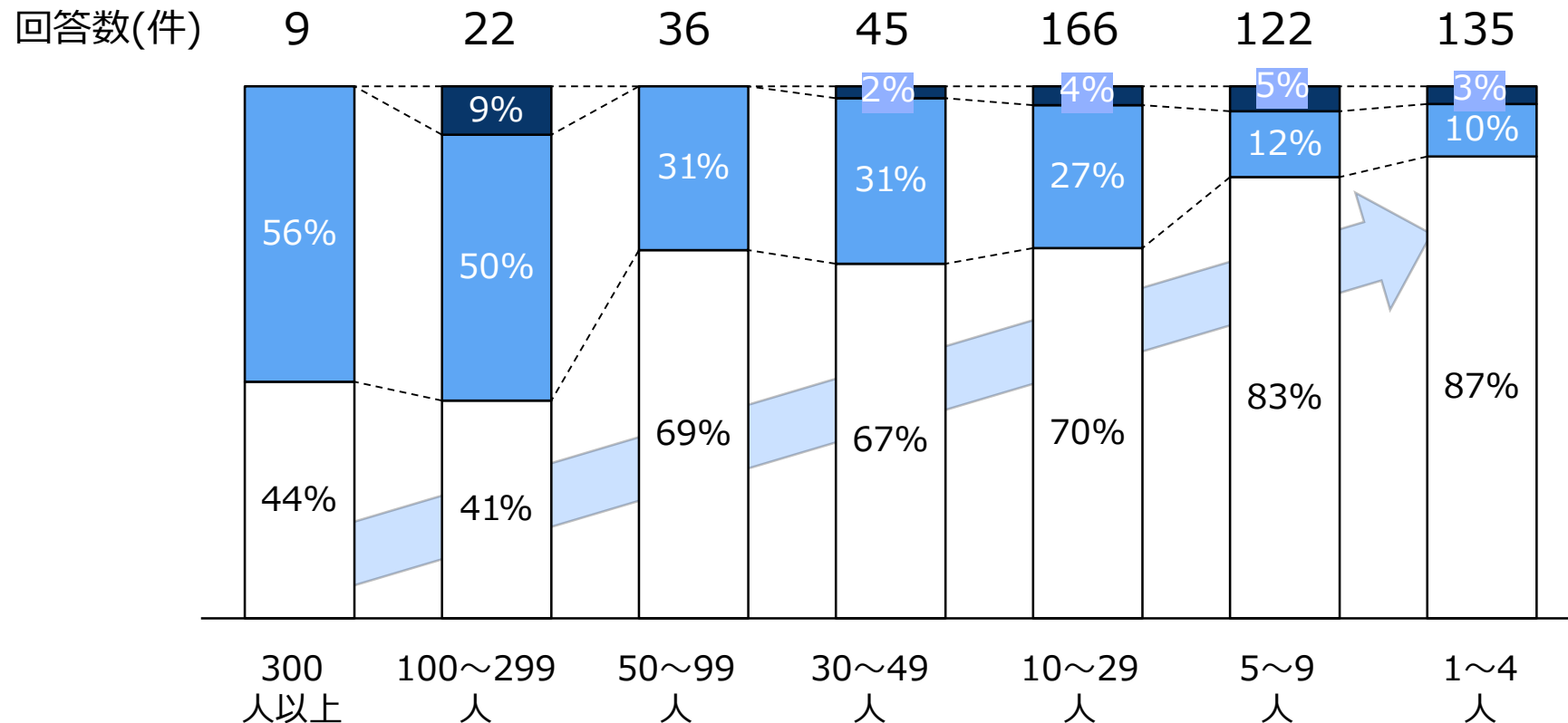
企業規模が小さくなると肝炎ウイルス検査を受ける機会が減る傾向



企業規模が小さくなると肝炎ウイルス検査も本人任せになる

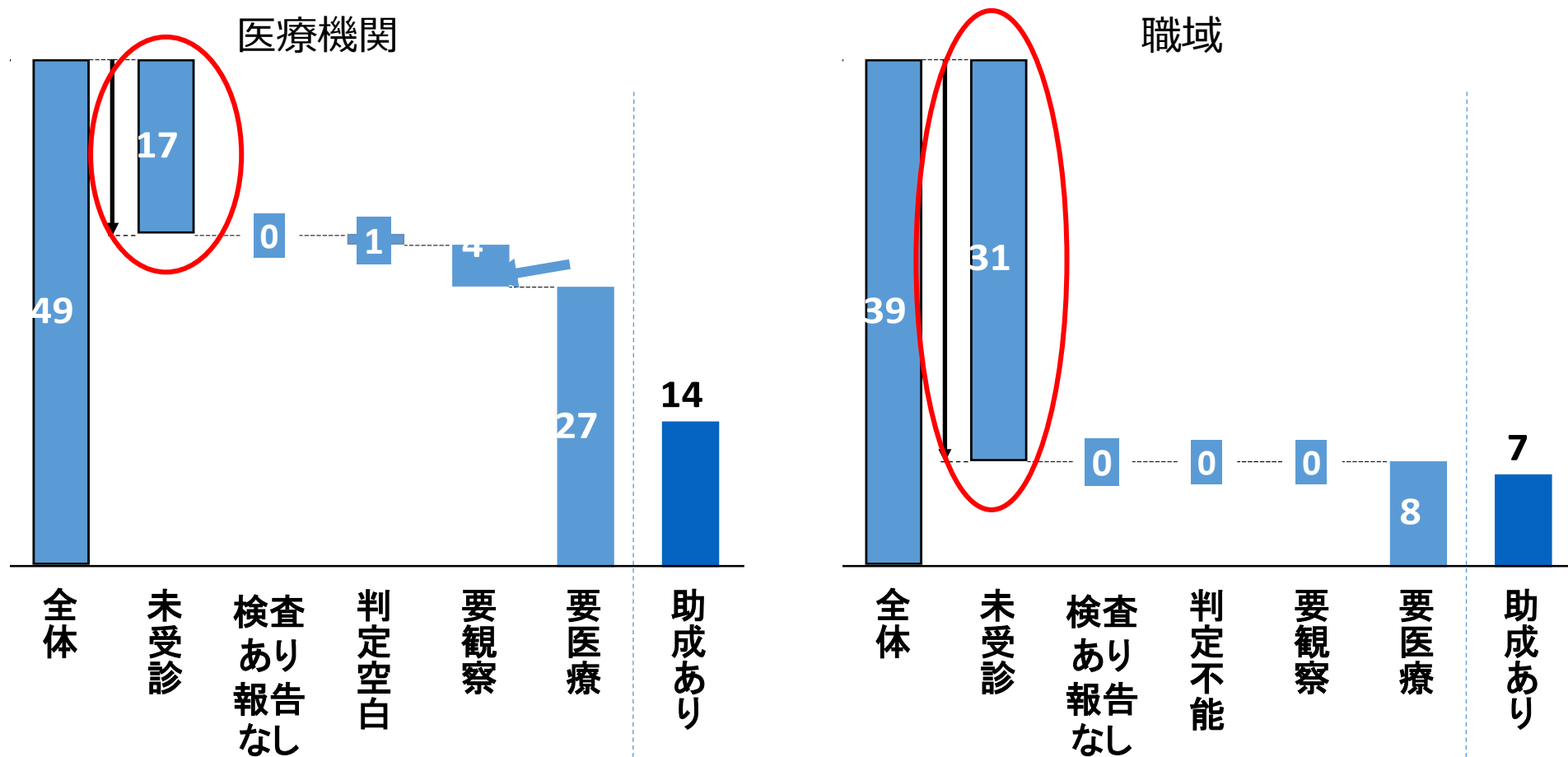
問：職場検診などで肝炎ウイルス検査を
どれくらい推奨していますか？

- 検査を義務付けている
- 義務ではないが、勧めている
- 勧めていない・本人任せ



職域では20%の人しか精密検査をしていない

平成27年度 精密検査結果報告書分析 (C型)



陽性率●●%	H25	H26	H27	陽性率●●%	H25	H26	H27
精密検査受診率	58.7%	75.5%	65.3%	精密検査受診率	28.6%	37.0%	20.5%
治療率（受診者中）	40.9%	40.0%	43.6%	治療率（受診者中）	75.0%	40.0%	87.5%

データ：肝疾患DB・佐賀県健康増進課

医療機関で治療をすれば治るのに、ウイルス検査や精密検査をしない人がとても多い

職域における肝疾患連携エコシステムの実際のフロー

ステップ1「受検」

肝炎ウイルス検査

HBs抗原
HCV抗体

社内講話
啓発イベント

ステップ2「受診」

精密検査の受診

相談・保健指導



できるだけ早期
の受診を勧める

精密検査の支援



産業医



産業保健師



精密検査を受けた
労働者

ステップ3「受療」

治療支援



産業保健師



産業医

抗ウイルス治療受療に
関する相談・支援

治療導入 治療継続



専門医



かかりつけ医

治療に対する
動機づけ・支援



治癒
進展防止策
定期観察
復職支援

**職域における肝炎対策が佐賀県にとって
重要な課題の一つである。**

職域：産業保健師の活躍の場



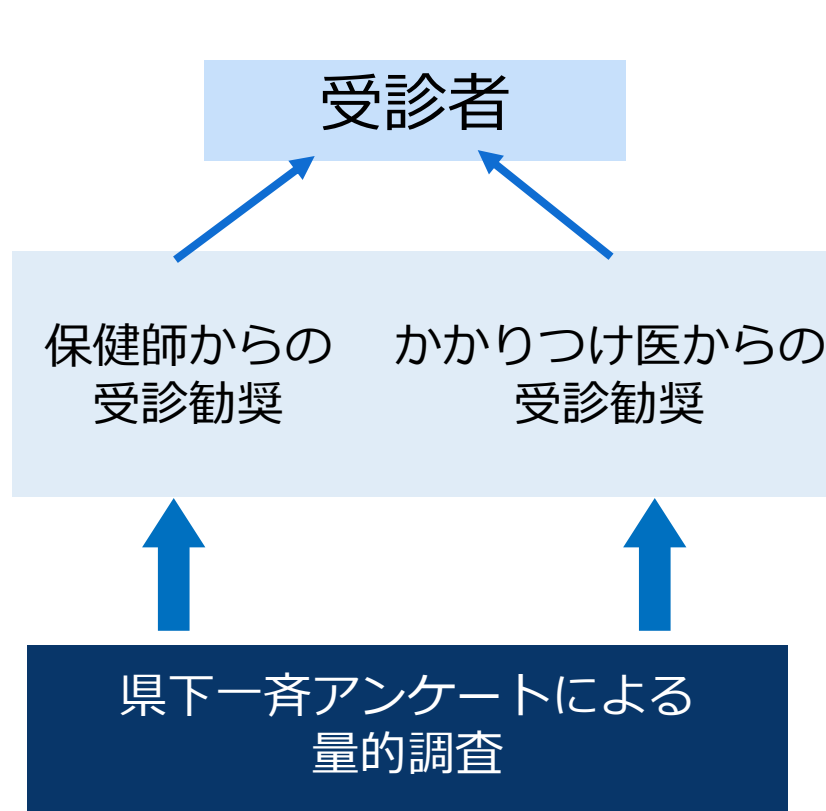
職域：産業保健師の活躍の場



**産業保健師による適切なウイルス性肝炎
対策が肝がん対策に繋がる。**

**実効性があり容易に参照できるQ&A集の
必要性は高い**

社会行動医学的検討→ソーシャル・マーケティング手法を用いて 効果的な勧奨方法・メッセージの開発



「いいものを作れば売れるという時代は終わった。
顧客を知ることが大切である」

Philip Kotler, 2013, 6,17
コトラーカンファレンス（東京）

「Social Marketing」 Philip Kotler, 1971
Social Marketing for Public Health: Global Trends and
Success Stories, Philip Kotler, et al, 2009

**産業保健の現場における課題を明確にした上で
優良事例を収集したマニュアルを作成した。**

課題を抽出し、優良事例・反省事例から 手軽に参照できるQ&Aを作成する

本調査研究のワークフロー

職域におけるウイルス性肝炎対策の課題抽出と事例収集・共有
佐賀産業保健総合支援センターと佐賀大学医学部肝疾患センター共催による
産業保健師向けのウイルス性肝炎対策のワークショップ開催



“優良事例”に相当する事例の特定
“反省事例”に相当する事例の特定
(いずれも事業主からみた事例と労働者からみた事例を区別)



事業主からみた“優良事例”

事業主からみた“反省事例”

労働者からみた“優良事例”

労働者からみた“反省事例”



事例を経験した産業保健師に対する詳細な聞き取り調査を実施

(1)と(2)を基にしたQ&A集の作成



Q&A集の活用のための講習会を実施



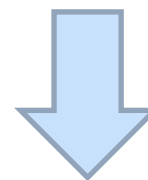
産業保健に携わる保健師を対象とした ワークショップを開催した。

職域に携わる保健師・看護師を対象とした
労働者の肝炎フォローアップに関するワークショップ (平成27年9月2日)



19名の保健師が参加

- ・ 産業保健の現場における
悩み・障害を収集
- ・ 効果的だった事例の共有



課題の明確化

大きく3つの課題が明確化した

ワークショップで明確化した課題

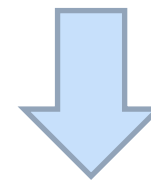
- (1) 肝炎ウイルス陽性者に**専門医への受診(精密検査)**を勧めても、**受診に至りにくい**
- (2) 労働者に**肝炎ウイルス検査未受検者がいる**
- (3) 労働者の肝炎ウイルス検査受検の有無や陽性者のその後の受診状況が把握できないため**フォローアップを行うべき対象が特定できない**

対策が上手くいっている医療機関で インタビュー調査をおこなった

肝炎フォローアップ体制が上手く展開されている医療機関に所属の
保健師・看護師へインタビュー調査(60分/人) (平成27年11月25日)



3名の保健師/看護師に依頼



有効なフォローアップ施策の
エッセンスを抽出

対策が上手くいっている医療機関では 様々な施策が展開されていた

医療機関の状況・工夫している施策

- (1) 保健師/看護師/その他職種(検査技師等)間での
コミュニケーションが良好
- (2) 「医療機関リスト」「検査結果の見方」等の
サポートツールの活用
- (3) 次年度の健康診断時に、**事前にフォローアップが
必要な陽性者を把握し適切に対応する**

対策が上手くいっている医療機関では 様々な施策が展開されていた

医療機関の状況・工夫している施策

- (1) 保健師/看護師/その他職種(検査技師等)間での
コミュニケーションが良好
- (2) 「医療機関リスト」「検査結果の見方」等の
サポートツールの活用
- (3) 次年度の健康診断時に、**事前にフォローアップが
必要な陽性者を把握し適切に対応する**

労働者は毎年同じ健診機関を受診

優良事例をふまえ、フォローアップ マニュアルを作成した



お悩み
1

肝炎ウイルス検査の
効果的な勧め方って？

以下の点をわかりやすく伝えましょう。
リスクと早期治療のメリットを
受検者がしっかり理解していれば、
万が一陽性だった場合にも、早期受診に繋がります。

ポイント

① 肝機能検査とは違う

健康診断に含まれる「肝機能検査」の数値では、肝炎に感染しているかどうかは分かりません。

ポイント

② リスク

肝炎は放っておくと肝がんになることも。自覚症状がないので、知らないうちに進行し自覚症状が出た時には手遅れになることがあります。

ポイント

③ 早期治療のメリット

早いうちであれば薬で治療することができ、肝がんを防ぐことができます。

地域特性

佐賀県は肝がんで亡くなる人が日本で一番多い県です。

ひと押し
キーワード

お得感&手軽感

通常だと
4000円～5000円は
かかる検査だけれど
安く受けられますよ。

今回の健診の採血で
一緒にできますよ。
まずは一度受けておけば
安心なので、今回ついでに
受けましょう。



お悩み 2

陽性者に精密検査を勧めても、
なかなか受診につながらない

陽性者が最も動きやすいのは、陽性だと分かったその時。
このタイミングを逃さず、精密検査受診へとつなげましょう。

ポイント

①

伝える情報を絞る。まずは“精密検査”の勧め

陽性者が短い時間で受け止められる情報は限られています。
治療について伝えすぎる前に、まずは精密検査を受けることの
重要性を伝えましょう。

「放っておくとがんになるリスクがあること、精密検査を受ける
必要があることを伝え、治療についてはその段階ではあまり話し
ません。まずは入り口(精密検査)に誘導することに集中します」



ポイント

②

どこで精密検査を受けられるかを知らせ、 具体的な次の行動を促す

精密検査が受けられる医療機関を提示し、
陽性者が次に何をすべきかを明確にしましょう。

「医療機関リストを見せながら、その方にはどの医療機関が
近いのかなど、できるだけ具体的に話しをします」

「受診する気があるようであれば、その場で精密検査の予約を取ってし
まうなど、有無を言わず次のプロセスにつなげるようにしています」



ポイント

③

家で振り返ることができる資材を準備

陽性結果を書面でしか伝えられない場合や、その場で陽性であることを
受け止めきれないケースもあるため、わかりやすい資材を準備しましょう。

「説明につかった文書をそのまま持ち帰ってもらっています」

「検査結果(肝炎ウイルス陽性)が何を意味するのかわかりやすく
説明した文書を検査結果に同封して郵送しています」



◎事業所との連携について

労働者が肝炎ウイルス検査を積極的に受検し、また、陽性だとわかった場合に精密検査を受診しやすい環境を整備するためには、**職場における肝炎に対する理解が不可欠です**。産業医や、事業所の安全衛生スタッフと連携し、事業主に積極的に情報提供を行っていくのも一つの方法です。

どのように事業所に働きかけていけば効果的なのかについては、産業保健総合支援センターにお気軽にご相談ください。

お悩み
3

労働者の状況が把握できないので
必要な受検勧奨やフォローアップができない

活用できる情報があれば、事前に把握し、
適切な受検勧奨やフォローアップに繋げましょう。

毎年の健康診断時に網を張る体制を作る

受診までに
すること



過去の健診結果や
カルテをチェック

フォローアップすべき人を事前に把握

健康診断当日



当日の
精密検査の勧め



その場で予約

たいへん
よくでき
ました

医療機関で治療をすれば治るのに、ウイルス検査や精密検査をしない人がとても多い

職域における肝疾患連携エコシステムの実際のフロー

ステップ1「受検」

肝炎ウイルス検査

HBs抗原
HCV抗体

社内講話
啓発イベント

ステップ2「受診」

精密検査の受診

相談・保健指導



できるだけ早期
の受診を勧める

精密検査の支援



産業医



産業保健師



精密検査を受けた
労働者

ステップ3「受療」

治療支援



産業保健師



産業医

抗ウイルス治療受療に
関する相談・支援

治療導入 治療継続



専門医



かかりつけ医

治療に対する
動機づけ・支援



治癒
進展防止策
定期観察
復職支援

本研究によりウイルス検査受検者の向上と 精密検査受診の向上が期待される

職域における肝疾患連携エコシステムの実際のフロー

ステップ1「受検」

ステップ2「受診」

精密検査の受診

肝炎ウイルス検査

HBs抗原
陽性者
の相談

肝炎ウイルス
陽性労働者
との相談

社内講話
啓発イベント

相談・保健指導



できるだけ早期
の受診を勧める

精密検査の支援



産業医



産業保健師



精密検査を受けた
労働者

ステップ3「受療」

治療支援



産業保健師



産業医

抗ウイルス治療受療に
関する相談・支援

治療導入
治療継続

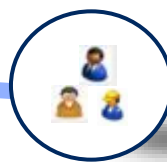


専門医



かかりつけ医

治療に対する
動機づけ・支援



治癒
進展防止策
定期観察
復職支援

肝炎ウイルス検査
の未受検の労働者

今後は治療の必要がある人を 適切に治療に結びつけることが次の課題

職域における肝疾患連携エコシステムの実際のフロー

ステップ1「受検」

ステップ2「受診」

精密検査の受診

肝炎ウイルス検査

HBs抗原
抗体検査

肝炎ウイルス
陽性労働者
との相談

相談・保健指導



できるだけ早期
の受診を勧める

精密検査の支援



産業医

産業保健師

社内講話
啓発イベント

ステップ3「受療」

治療支援



産業保健師



産業医

治療導入
治療継続



専門医



かかりつけ医

精密検査を受けた
労働者

治療に対する
動機づけ・支援

抗ウイルス治療受療に
関する相談・支援

治癒
進展防止策
定期観察
復職支援

肝炎ウイルス検査
の未受検の労働者

まとめ

特にC型肝炎は治癒が期待できる病気であるが、適切な検査に結びつかない事例が多い

産業保健に携わる保健師向けのQ&A集を作成した

今後は先進的な受診率の追跡調査を行い、その効果を検証してゆくとともに、治療適応のある職員を円滑に治療に結びつけることが次の課題である。